

## 自然観察ちば代表就任のご挨拶

小西博典(千葉市)

去る2月11日、船橋市勤労市民会館で開催された2009年度千葉県自然観察指導員協議会総会において、2009年～2010年の協議会役員24名が選任され、新しい体制で協議会活動がスタートしました。

昨年末に和仁代表より新年度の代表就任を要請されましたが、本来次期代表は石嶋基次様がなさるべきとお断りしました。和仁様も同じお考えで石嶋様をお願いされましたが、石嶋様が健康上の理由により役員就任を固辞されたとのことでした。



自然観察指導員としての専門性も無く、経験も浅い私ですが、皆さまのご支援ご指導をいただきながら少しでも協議会発展のお役に立てばと思い協議会代表の役目をお引受けした次第です。どうぞよろしくご指導ご支援くださるようお願いいたします。

現在の社会情勢は地球温暖化や生物多様性保全など地球規模の環境問題の顕在化に伴い、国民・企業・一般社会の環境問題に対する関心は高まりを見せており、新聞・TV・講演会など地球環境問題に触れない日は無いといえるでしょう。しかし本当に国民一人ひとりが地球規模の環境問題を自分の問題として認識し、自らの行動に結びつけ対応しているかといえば、はなはだ疑問といわざるを得ません。

私たち自然観察指導員の合言葉「自然観察からはじまる自然保護」の地道な実践が今ほど必要な時代は無いと痛感しております。1人でも多くの人々が自然観察会に参加し、森林や谷津田など自然とのふれあいを楽しむ。そして自然と人との関わり、自然の不思議さ・偉大さ・怖さなど、体験を通して自ら何かを感じ取り、自然を大切する豊かな感性と価値観を育ててもらえればと思っています。まずは自然体験の場を提供し、参加者の皆さまが何かを感じ、自ら何かを行動するお手伝いをするのが自然観察指導員としてできる「始めの一步」ではないでしょうか。

昨年度、協議会が官公庁・企業などより委託された受託観察会などの行事は19件、106回を数え、毎週2回どこかで観察会等を開催し、その為に359名の指導員のご協力を得ております。その他SSN活動、昭和の森・東葛地区の観察会を加えると年間200回を超える活動を会員の皆さまのご理解・ご協力に支えられ行なっております。

今後益々厳しくなる社会情勢・経済環境の中で現状を維持し、更にその活動を充実していく為に協議会運営についても今回見直しを行なっております。即ち、従来の事務局体制を強化し、赤木新事務局長以下4名体制とし、内部管理と受託行事等の外部管理に分け、業務負担の均等化による会の円滑な運営を目指しています。その他大草谷津田生きものの里観察会担当を新たに設け、観察会担当役員を計2名増員強化しました。

会員の皆さまも各地域で自然観察会や自然保護活動の会を多数主宰し活動されていますが、協議会の持つ人材・情報・機器などをより有効に活用していただけるよう協議会機能の見直し充実も必要と考えております。

最後になりましたが、永年当協議会事務局長を務め現在の協議会運営の基盤を構築され、その後2期にわたり代表として会の発展に尽くされました和仁道大様に感謝とお礼を申し上げ、今後は顧問として私どもを導いていただくようお願いいたします。

又今回役員を退任されました石嶋基次様始め皆さまに在任中のご指導・ご活躍に心より感謝申し上げます。

頼りない代表ですが、赤木光明新事務局長はじめ強力な役員皆さま並びに会員の皆さまのお力添えを得て、より良い会の運営ができるよう少しでもお手伝いできればと念じております。どうぞよろしくお願い申し上げます。